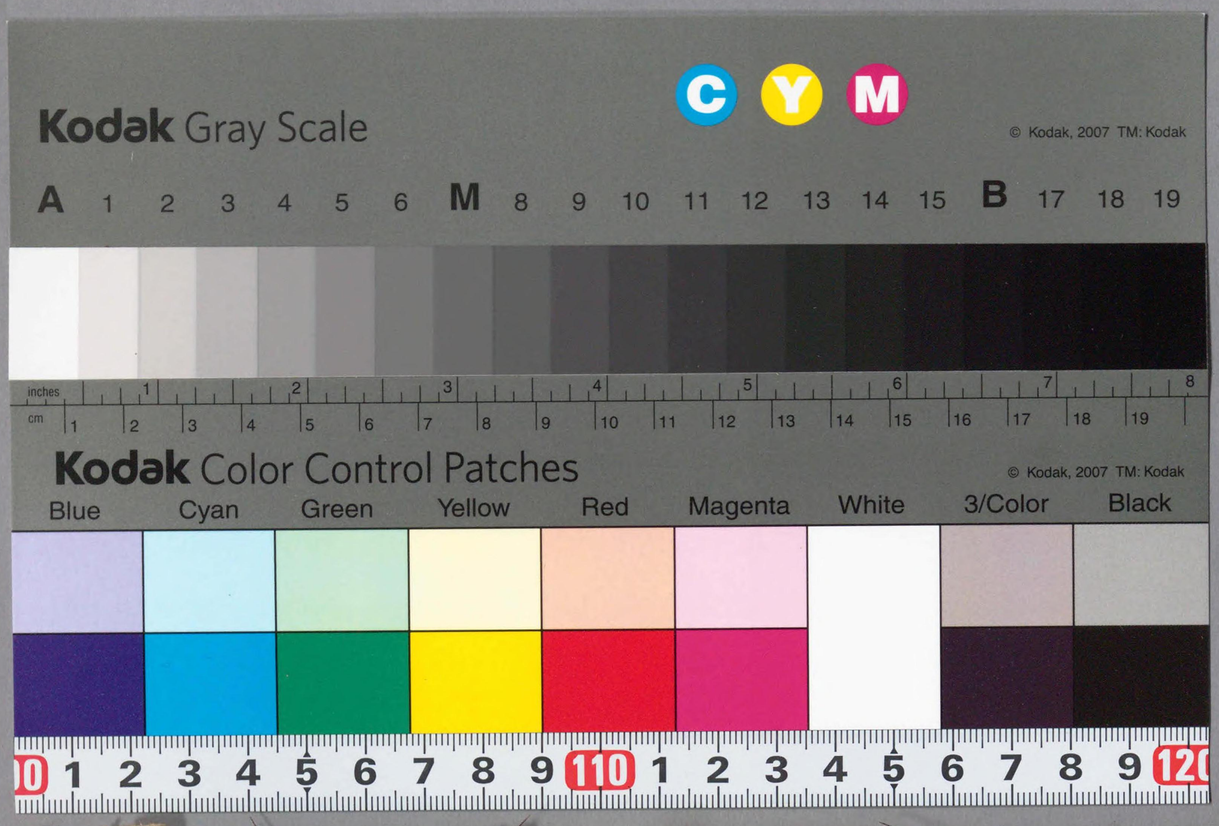
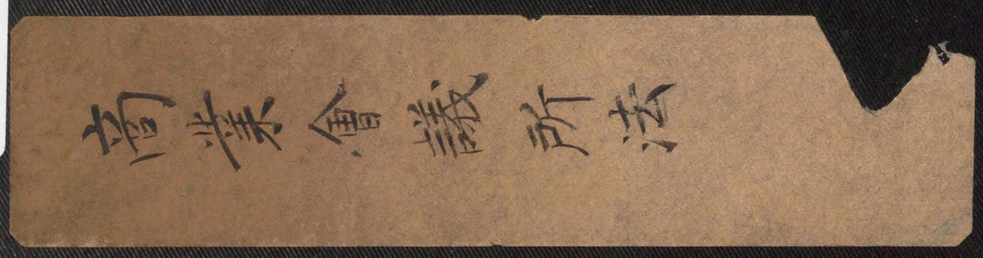


CZ 421 02
CZ-421-02
1200901599180



大正五年七月

商業會議所法

商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ノ件
商業會議所法施行規則
商業會議所議員選擧規則
附　商業會議所法及附屬諸法規改正要點說明書

農商務省商工局

14,7-144

C王
421
02

帝國圖書館藏

目次

一、商業會議所法……一頁
一、商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ノ件……一〇
一、商業會議所法施行規則……一一
一、商業會議所議員選擧規則……一七
一、商業會議所法及附屬諸法規改正要點說明書……二五

大正
5. 9. 29
內交

商業會議所法

明治三十五年三月二十四日
法律第三十一號

（明治四十二年法律第四十三號、大正五年法律第三十九號改正）

第一條　商業會議所ハ法人トス

第二條　商業會議所ノ地區ハ市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區トスコトヲ得

第三條　商業會議所ヲ設立セムトスルトキハ議員ノ被選擧權ヲ有スヘキ者三十人以上發起人ト爲リ發起ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ

第四條　發起人前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ定款ヲ作リ議員ノ選擧權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ設立ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ

第五條　商業會議所ハ設立ノ認可ヲ受ケタル日ニ於テ成立ス商業會議所成立ノ後役員ノ認可アル迄ノ間必要ナル事務ハ發起人之ヲ行フ

第六條　定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　名稱、地區及所在地

二　議員ノ定數及其ノ選擧ニ關スル規定

三　役員ノ權限、選任及解任ニ關スル規定

四　會議ニ關スル規定

五　仲裁ニ關スル規定

六　庶務ニ關スル規定

七　會計ニ關スル規定

八　營造物ヲ設立シ又ハ管理スルトキハ其ノ管理ニ關スル規定

第七條　商業會議所ノ事務權限左ノ如シ

一　商工業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル方案ヲ調査スル事

二　商工業ニ關スル法規ノ制定、改廢、施行ニ關シ意見ヲ行政廳ニ開申シ及商工業ノ利害ニ關スル意見ヲ表示スル事

三　商工業ニ關スル事項ニ關シ行政廳ノ諮問ニ應スル事

四　商工業ノ狀況及統計ヲ調査發表スル事

五　商工業者ノ委囑ニ因リ商工業ニ關スル事項ヲ調査シ又ハ商品ノ產地價格等ヲ證明スル事

六　官廳ノ命ニ依リ商工業ニ關スル鑑定人又ハ參考人ヲ推薦スル事

七　關係人ノ請求ニ因リ商工業ニ關スル紛議ヲ仲裁スル事

八　農商務大臣ノ認可ヲ受ケ商工業ニ關スル營造物ヲ設立シ又ハ管理シ其ノ他商工業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル施設ヲ爲ス事

第八條　農商務大臣又ハ地方長官ハ商工業ニ關スル事項ノ調査ヲ商業會議所ニ命スルコトヲ得

第九條　帝國臣民又ハ帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區內ニ營業所又ハ事務所ヲ有シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ議員ノ選擧權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ半數以上、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ半數以上、株式會社ニ在リテハ取締役ノ半數以上帝國臣民タルコトヲ要ス

一　自己ノ名ヲ以テ商法第二百六十三條、第二百六十四條第一號、第二號乃至第六號及第八號乃至第十二號ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者

二　自己ノ名ヲ以テ製造及加工ニ關スル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者

三　取引所營業稅ヲ納ムル取引所

四　鑛產稅ヲ納ムル鑛業權者

五　賣藥營業稅ヲ納ムル賣藥營業者

前項地區內ニ於ケル納稅ノ額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

商業會議所ノ地區ノ內外ニ於テ營業所又ハ事務所ヲ有シ營業稅又ハ鑛產稅ヲ分別シテ納メサル者ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ヲ以テ其ノ地區內ニ於ケル納稅額ト看做ス

帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區內ニ營業所又ハ事務所ヲ有シ第一項各號ノ一ニ該當スルモノノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事又ハ登記シタル支配人ニシテ所得稅ヲ納ムル帝國臣民ハ其ノ主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ノ所在地ニ於テ議員ノ選擧權ヲ有ス

前項納稅ノ額及法人ノ資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選擧權ヲ有セス

一　身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル時ヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

二　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

三　禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

第十一條　一人ニシテ同一商業會議所ノ議員ノ選擧ニ關シ二以上ノ選擧權ヲ有スルコトヲ得ス

第十二條　法人及年齡三十歲以上ノ男子ニシテ二箇年以來議員ノ選擧權ニ關スル要件ヲ具備スル者ハ議員ノ被選擧權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員帝國臣民タルコトヲ要ス

家督相續ヲ爲シタル者ニ付テハ第九條第一項ノ規定ニ依ル議員ノ選擧權ニ關スル要件ニシテ被相續人ノ具備シタルモノハ之ヲ其ノ者ノ具備シタルモノト看做ス

第十三條　第十條各號ノ一ニ該當スル者竝禁治產者及準禁治產者ハ被選擧權ヲ有セス

第十四條　議員ノ定數ハ五十人以下トス

第十五條　商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ置クコトヲ得

地方長官ハ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ命スルコトヲ得

特別議員ハ決議ニ加ハルコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

特別議員ハ年齡三十歲以上ノ帝國臣民タル男子ニシテ商工業ニ關スル學術、技藝又ハ經驗アル者タルコトヲ要ス

第十六條　議員ノ選擧ニ關シテハ複選擧、階級選擧其ノ他ノ方法ニ依ルコトヲ得

議員選擧人ノ選擧ニ關シテハ議員ノ選擧ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條　議員ノ選擧事務ハ地方長官ノ命シタル選擧委員之ヲ行フ其ノ費用ハ商業會議所ノ負擔トス

地方長官ハ選擧事務ヲ監督ス

第十八條　議員ノ選擧ハ選擧人自ラ之ヲ行フヘシ但シ法人、女子及無能力者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ代人ヲ以テ之ヲ行フ

商業會議所ノ地區內ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有セサル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ代人ヲ以テ選擧ヲ行フコトヲ得

第十九條　議員及議員選擧人選擧ノ方法、手續及取締ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條　議員當選者ハ地方長官、議員ハ會頭ニ於テ正當ノ事由アリト認メタル場合ヲ除クノ外商業會議所ノ決議ヲ經ルニ非サレハ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第二十一條　議員タル法人ハ其ノ代表者ヲ定ムヘシ

代表者ハ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長又ハ理事ニシテ年齡三十歲以上ノ男子タルコトヲ要ス

第十三條ニ該當スル者ハ代表者タルコトヲ得ス

第二十二條　一人ニシテ同一商業會議所ニ於テ二以上ノ法人ノ代表者ト爲リ又ハ議員ト代表者トヲ兼ヌルコトヲ得ス

第二十三條　議員及特別議員ハ無給トス

第二十四條　議員ノ任期ハ四箇年トス

第二十五條　補闕議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

增員議員ノ任期ハ現任者ノ任期ヲ超ユルコトヲ得ス

議員增減ノ爲必要ナル任期ノ異動ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條　特別議員ハ議員ノ改選期每ニ解任ス

第二十七條　議員ニシテ被選擧權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ

第二十八條　商業會議所ニ左ノ役員ヲ置ク

會頭　一人

副會頭

會頭ハ商業會議所ヲ統轄シ其ノ事務ヲ擔任シ會議ノ議長トナリ商業會議所ヲ代表ス

副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキハ之ヲ代理ス

商業會議所ニハ定款ノ定ムル所ニ依リ會頭副會頭ノ外必要ナル役員及事務員ヲ置クコトヲ得

役員ハ議員中ヨリ之ヲ互選シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

役員ニシテ議員ノ職ヲ失ヒタルトキハ解任ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ後任者ノ認可アル迄其ノ職ヲ行フコトヲ得

第二十九條　商業會議所ハ商工業ノ狀況及統計ノ調査ノ爲必要ナル材料ノ提出ヲ商工業者ニ請求スルコトヲ得

第三十條　商業會議所ノ經費ハ議員ノ選擧權ヲ有スル者ニ於テ之ヲ負擔ス

選擧權ヲ停止セラレタル者ハ停止中ト雖經費ヲ負擔ス

商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條　商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料若ハ手數料ヲ徵收シ又ハ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

前項ノ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十二條　商業會議所ハ其ノ決議ヲ以テ職務ヲ怠リ其ノ他不正ノ行爲アリタル議員ニ二百圓以下ノ過怠金ヲ課シ又ハ之ヲ除名スルコトヲ得

第三十三條　經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ會頭ノ請求アルトキハ市町村ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商業會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項ノ徵收金ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付時效ニ關シテハ國稅ノ例ニ依ル

第三十四條　商業會議所ハ滯納又ハ除名ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ決議ヲ以テ四箇年以內選擧權及被選擧權ヲ停止スコトヲ得

第三十五條　左ノ決議ハ議員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

一　定款變更ノ決議

二　第三十二條、第三十四條及第四十二條第一項ノ決議

前項ノ決議及經費ノ豫算、賦課徵收方法ノ決議ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十六條　商業會議所ハ經費ノ決算ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

商業會議所ハ每年少クトモ一回其ノ事業成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第三十七條　商業會議所解散ノ決議ハ議員總數ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ決議ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十八條　商業會議所ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙存續スルモノト看做ス

第三十九條　商業會議所解散シタルトキハ其ノ決議ヲ以テ清算人ヲ選任スヘシ清算人缺ケタルトキ亦同シ

清算人ヲ選任シタルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第四十條　前條ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官清算人ヲ選任ス

第四十一條　清算人ハ商業會議所ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第四十二條　清算人ハ清算及財產處分ノ方法ヲ定メ商業會議所ノ決議ヲ經ヘシ

商業會議所前項ノ決議ヲ爲サス又ハ爲スコト能ハサルトキハ清算人ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ清算及財產處分ノ方法ヲ定ムヘシ

第四十三條　商業會議所ハ解散ノ後ト雖其ノ債務ヲ完濟スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

前項ノ賦課徵收ニ關シテハ第三十條及第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第四十四條　農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ定款、經費ノ豫算及賦課徵收方法、清算及財產處分方法ノ變更ヲ命シ其ノ

他必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　議員ノ選擧、商業會議所ノ決議、行爲又ハ役員、清算人ノ行爲ニシテ法令若ハ定款ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ農商務大臣ハ選擧若ハ當選ノ取消、役員、清算人、議員若ハ特別議員ノ停職若ハ解任、商業會議所ノ決議、行爲若ハ役員、清算人ノ行爲ノ停止若ハ取消又ハ商業會議所ノ解散ヲ命スルコトヲ得

農商務大臣ハ前項ニ依リ解任セラレタル議員又ハ役員及不正ノ行爲ニ因リ當選ヲ取消サレタル者ニ對シ四箇年以內選擧權及被選擧權ヲ停止スルコトヲ得

第四十六條　選擧權及被選擧權ヲ停止セラレタル者ハ其ノ停止中議員、特別議員又ハ法人ノ代表者タルコトヲ得ス

第四十七條　農商務大臣ハ本法ニ規定シタル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第四十八條　本法中市町村ニ關スル規定ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

附　則

第四十九條　本法ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

商業會議所條例ハ之ヲ廢止ス但シ同條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外

第五十二條ノ認可ヲ受クル迄其ノ效力ヲ有ス

第五十條　商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニシテ本法施行後繼續セムトスルモノハ本法ノ規定ニ從ヒ議員ノ定數、選擧方法其ノ他選擧ニ關スル必要ナル規定ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十六年三月三十一日迄ニ議員ノ選擧ヲ爲スヘシ

前項ノ選擧及之ニ依リ選擧セラレタル議員ニ關シテハ本法及本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ヲ適用ス

第五十一條　商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ノ會員及特別會員ニシテ本法施行ノ際其ノ職ニ在ル者ノ任期ハ

前條第一項ノ選擧終了ノ日迄トス

第五十二條　第五十條第一項ノ選擧ニ當選シタル議員ハ選擧終了ノ日ヨリ三十日以內ニ本法ノ規定ニ從ヒ定款ヲ議定シ及役員ヲ選任シ農商務大臣ノ認可ヲ申請スヘシ

商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ハ第二條ノ規定ニ拘ラス從前ノ地區ニ依ルコトヲ得

第五十三條　商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ノ役員ノ任期ハ前條第一項ニ依リ選任シタル役員認可ノ日迄トス

第五十四條　商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニシテ第五十二條第一項ノ認可ヲ受ケタルモノハ本法ニ依リテ設立シタルモノト看做ス

商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所第五十條第一項又ハ第五十二條第一項ニ定メタル手續ヲ爲ササルトキハ解散シタルモノト看做ス此場合ニ於テハ第三十八條乃至第四十五條ノ規定ヲ適用ス

附　則（大正五年法律第三十九號附則）

本法ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ、舊刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復權ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス

本法施行ノ際現ニ議員タル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

第三十三條ノ規定ハ本法施行ノ日ノ屬スル會計年度ニ於テ賦課シタル經費ヨリ之ヲ適用ス

商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ノ件

大正五年六月二十六日
勅令第百七十號

第一條　商業會議所ノ經費ノ賦課ハ左ノ各號ニ依ル

一　商業會議所法第九條第一項ノ規定ニ依リ議員ノ選擧權ヲ有スル者ニハ其ノ者ノ納ムル營業稅、取引所營業稅、鑛產稅又ハ賣藥營業稅ノ稅額割

二　商業會議所法第九條第四項ノ規定ニ依リ議員ノ選擧權ヲ有スル者ニハ人頭割

商業會議所法第九條第一項及同條第四項ニ該當スル者ニハ稅額割ト人頭割トヲ併課スルコトヲ得

第二條　稅額割ハ地區內ニ於ケル納稅ノ額ヲ標準トシ左ノ制限內ノ賦課率ニ依リ之ヲ定ムヘシ

一　營業稅　百分ノ二十

二　取引所營業稅　百分ノ十

三　鑛產稅　百分ノ二十

四　賣藥營業稅　百分ノ十五

人頭割ノ賦課額ハ所得稅納額ヲ標準トシ等級ニ區分シ各級ニ屬スル者ノ最低納稅額ノ百分ノ十以內ニ於テ各級每ニ之ヲ定ムヘシ但シ等級ニ區分セス此ノ制限內ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ妨ケス

第三條　商業會議所法第四十三條ノ規定ニ依ル經費ヲ賦課徵收スル場合ニ於テハ前條ノ制限率ニ依ラサルコトヲ得

附　則

本令ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル賦課方法ハ本令施行ノ日ノ屬スル會計年度ニ限リ仍其ノ效力ヲ有ス

商業會議所法施行規則

大正五年六月二十七日
農商務省令第十二號

第一條　商業會議所發起ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ發起人カ法定ノ資格ヲ有スルコトヲ證スル書類及左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ發起人連署シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一　商業會議所設立ノ理由

二　最近五箇年間ノ事業計畫及商業會議所法第七條第八號ニ該當スル事業ニ付テハ之ト公共團體ノ事業トノ關係竝之ヲ必要トスル理由

三　地區

四　議員ノ選擧權ヲ有スヘキ者及被選擧權ヲ有スヘキ者ノ數

五　創立費豫算

六　一會計年度ニ要スル經費ノ收支概算

七　市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスルトキハ其ノ特別ノ事情

市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスル場合ニ於テハ各市町村ニ少クトモ一人ノ發起人アルコトヲ要ス

第二條　發起人發起ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ六箇月以內ニ設立ノ認可ヲ申請セサルトキハ發起ノ認可ハ其ノ效力ヲ失フ

發起人ノ行爲ニシテ法令ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ農商務大臣ハ發起ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第三條　發起人設立ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ定款及法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書類ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスル場合ニ於テハ各市町村ニ付議員ノ選擧權ヲ有スヘキ者三分ノ二

以上ノ同意ヲ得タルコトヲ要ス

第四條　農商務大臣商業會議所設立ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ名稱、地區及所在地ヲ告示ス

第五條　發起人ハ議員選擧終了後遲滯ナク商業會議所ノ會議ヲ開キ其ノ執行シタル事務ヲ報告シ且創立費決算ノ承認ヲ求ムヘシ

前項會議ニ於テハ經費ノ豫算及賦課徵收方法ヲ議決シ並役員ノ選擧ヲ行フヘシ

發起人ハ第一項ノ承認ヲ經タル創立費決算ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第六條　役員ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク一切ノ書類、物件及事務ヲ役員ニ引繼クヘシ

第七條　商業會議所法第九條第二項ニ依リ商業會議所ノ地區內ニ於ケル納稅ノ額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ムヘシ

	商業會議所所在地名	營業稅	鑛產稅	取引所營業稅	賣藥營業稅
第一	東京	百圓以上	百圓以上	二千圓以上	八十圓以上
第二	大阪	七十五圓以上	七十五圓以上	千圓以上	六十圓以上
第三	京都、橫濱、神戶、名古屋	四十圓以上	四十圓以上	五百圓以上	四十圓以上
第四	其ノ他	二十圓以上	二十圓以上	百圓以上	二十圓以上

第八條　商業會議所法第九條第三項ニ揭ケタル者ニ付テハ商業會議所ノ地區ノ屬スル市町村ニ於テ營業稅又ハ鑛產稅附加稅賦課ノ步合ヲ定メタルモノアルトキハ其ノ步合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ地區內ニ於ケル納稅ノ額ト看做ス

前項步合ノ定ナキトキハ商業會議所ニ於テ其ノ地區內ニ於ケル納稅ノ額ト看做スヘキ金額ヲ算出シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條　商業會議所法第九條第五項ニ依リ納稅ノ額及法人ノ資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ム

	商業會議所所在地名	資本額又ハ出資額	所得稅
第一	東京	五十萬圓以上	七十圓以上
第二	大阪	四十萬圓以上	五十圓以上
第三	京都、橫濱、神戶、名古屋	二十萬圓以上	三十圓以上
第四	其ノ他	十萬圓以上	二十圓以上

第十條　商業會議所ハ議員ノ當選者アル每ニ其ノ氏名、法人ニ關シテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

特別議員ノ選定又ハ任命アリタルトキハ商業會議所ハ履歷書ヲ添附シ其ノ氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十一條　議員又ハ特別議員ノ退任アリタルトキハ商業會議所ハ其ノ事由及氏名又ハ名稱ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ農商務大臣ニ於テ解任ヲ命シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　商業會議所ニ於テ役員ヲ選任シタルトキハ其ノ履歷書、法人ニ關シテハ其ノ代表者ノ履歷書ヲ添附シ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

役員タル法人ノ代表者變更ノ場合ニハ履歷書ヲ添附シ其ノ氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

役員ノ退任アリタルトキハ其ノ事由及氏名又ハ名稱ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ農商務大臣ニ於テ解任ヲ命シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　商業會議所ニ於テ書記長ヲ命シタルトキハ履歷書ヲ添附シ之ヲ免シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十四條　商業會議所ニ於テ商業會議所法第七條第八號ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一　其ノ事業ヲ必要トスル理由

二　事業計畫

三　其ノ事業ニ要スル費用ノ豫算

四　其ノ事業ト公共團體ノ事業トノ關係

第十五條　商業會議所ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十六條　商業會議所ノ經費ハ其ノ負擔義務ノ發生シタル月ノ初ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄ノ月割額以上ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ商業會議所ニ於テ既ニ徵收シタル經費ハ之ヲ還付セサル旨ヲ定ムルコトヲ妨ケス

會計年度一年ニ滿タサル場合ニ於テハ大正五年勅令第百七十號第二條ノ制限ハ其ノ年度ノ開始シタル月ノ初ヨリ其ノ終了シタル月ノ終迄ノ月割ヲ以テ之ヲ計算スヘシ

第十七條　商業會議所ハ每年一月末日迄ニ次年度ノ經費ノ豫算及賦課徵收方法ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ但シ創立ノ場合ニ於テハ決議ノ日ヨリ七日以內ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

經費ノ豫算及賦課徵收方法ノ變更ノ認可ハ決議ノ日ヨリ七日以內ニ之ヲ申請スヘシ

第十八條　商業會議所ハ每年七月末日迄ニ前年度ノ經費ノ決算ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

前項報告ニハ前年度末日現在ニ依リ調製シタル財產目錄ヲ添附スヘシ

第十九條　商業會議所ハ會計年度ニ依リ事業成績書ヲ調製シ前條報告ト同時ニ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二十條　商業會議所解散シタルトキハ農商務大臣之ヲ告示ス

第二十一條　商業會議所ニ於テ清算人ヲ選任シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添附シ遲滯ナク認可申請書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第二十二條　地方長官清算人ノ認可ヲ與ヘ又ハ之ヲ選任シタルトキハ其ノ氏名ヲ告示スヘシ

第二十三條　清算人ハ就職ノ日ヨリ六箇月以內ニ清算及財產處分ノ方法ヲ定メ之ヲ商業會議所ノ決議ニ附スヘシ

前項ノ清算及財產處分ノ方法ニシテ商業會議所ノ決議ヲ經タルトキハ財產目錄及貸借對照表ヲ添附シ七日以內ニ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

商業會議所第一項ノ期間內ニ決議ヲ爲サス又ハ爲スコト能ハサルトキハ清算人ハ其ノ事由ヲ具シ財產目錄及貸借對照表ヲ添附シ期間經過後七日以內ニ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二十四條　清算結了シタルトキハ清算人ハ其ノ結果ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

前項報告ニハ商業會議所ニ屬スル帳簿其ノ他ノ書類及清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添附スヘシ

第二十五條　商業會議所法第三十五條第一項又ハ第三十七條第一項ノ決議ニ關スル認可申請書ニハ會議ノ議事錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第二十六條　商業會議所法又ハ本則ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附則

第二十七條　本則ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十八條　明治三十五年農商務省令第十六號ハ之ヲ廢止ス

第二十九條　本則施行前第七條及第九條ニ定メタル制限額ヨリ低キ制限額ヲ定款ニ定メタル商業會議所ハ大正十年三月末日迄第七條及第九條ニ定メタル制限額ニ依ラサルコトヲ得

第三十條　本則施行前ニ第十五條ノ規定ニ異ナル會計年度ヲ定款ニ定メタル商業會議所ニ付テハ其ノ會計年度ハ大正六年三月末日迄仍從前ノ例ニ依ル經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ認可申請竝經費ノ決算報告ノ期限亦同シ

商業會議所議員選擧規則

明治三十五年六月二十七日
農商務省令第十五號
（大正五年農商務省令第十三號改正）

第一條　商業會議所ニ於テ階級選擧ヲ行ハムトスルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ選擧權者ヲ三級又ハ二級ニ分ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ商業會議所法第九條第四項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ハ別ニ之ヲ一階級ト爲スヘシ若シ其ノ數一階級ヲ爲スニ足ラサルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ前項ニ依リテ定メタル各級ニ編入スルコトヲ得

前項ニ依リ一階級ヲ作リタル場合ニ於テハ定款ヲ以テ其ノ階級ヨリ選擧スヘキ議員ノ數ヲ定ムヘシ

第二條　選擧權者ヲ分チテ三級ト爲ス場合ニ於テハ選擧權者中經費ノ納額最多キ者ヲ合セテ選擧權者全員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ一級以外ノ選擧權者中經費ノ納額多キ者ヲ合セテ一級選擧權者ノ經費ノ納額ヲ選擧權者全員ノ納ムル總額ノ議員定數ノ三分ノ一ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員定數ノ三分ノ一ト同數ヲ以テ一級トシ二級選擧權者ノ場合ニモ亦之ヲ準用ス

選擧權者ヲ分チテ二級ト爲ス場合ニ於テハ選擧權者中經費ノ納額最多キ者ヲ合セテ選擧權者全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選擧權者ヲ二級トス但シ一級選擧權者ノ數議員定數ノ二分ノ一ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員定數ノ二分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス

各級ノ間經費ノ納額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ兩級ノ間ニ納額同シキ者二名以上アルトキハ選擧權ニ關スル要件ヲ具備シタル年數ノ多キ者ヲ上級ニ入ル其ノ年數ニ依リ難キトキハ年齢ニ依リ年齢ニ依リ難キトキハ商業會議所ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三條　經費ヲ賦課セサル商業會議所ニ於テハ階級選擧ヲ行フコトヲ得ス

第四條　選擧權者ヲ分チテ三級ト爲シタル場合ニ於テハ選擧權者ハ毎級各別ニ議員定數ノ三分ノ一ヲ選擧シ選擧權者ヲ分チテ二級ト爲シタル場合ニ於テハ選擧權者ハ毎級各別ニ議員定數ノ二分ノ一ヲ選擧ス

第五條　第一條第二項ニ依リ一階級ヲ作リタル場合ニ於テハ之ニ屬スル選擧權者ノ經費ノ納額ヲ選擧權者全員ノ納ムル總額ヨリ控除シタル殘額ヲ以テ第二條ノ選擧權者全員ノ納ムル總額ト看做シ其ノ階級ヨリ選擧スヘキ議員ノ數ヲ議員定數ヨリ控除シタル殘數ヲ以テ第二條及第四條ノ議員定數ト看做ス

第六條　商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ選擧區又ハ投票區ヲ設クルコトヲ得

各選擧區ニ於テ選擧スヘキ議員數ハ各區ニ於ケル選擧權者ノ數ニ應シ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第七條　複選擧法ニ依ル場合ニ於ケル議員選擧人ノ數ハ定款ノ定ムル所ニ依ル但シ選擧スヘキ議員數ノ三倍ヲ下ルコトヲ得ス

第八條　商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ選擧權者ヲ業種ニ分チ各業種ヨリ各別ニ所定ノ員數ノ議員ヲ選擧セシムルコトヲ得

第九條　複選擧法ニ依ル場合ニ於テハ議員選擧人ノ選擧ニ限リ階級若ハ業種ニ分チ選擧區ヲ設ケ選擧ヲ行フコトヲ得

階級選擧法ニ依ル場合ニ於テハ二級若ハ三級ノ選擧ニ限リ選擧區ヲ設クルコトヲ得

第十條　商業會議所ハ設立ノ認可ヲ受ケタル日及毎年一回定款ニ定メタル期日ノ現在ニ依リ選擧權者名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ地方長官ニ差出スヘシ

選擧權者名簿ハ階級選擧法ニ依リ議員ヲ選擧スル場合ニ於テハ選擧權者ノ屬スヘキ階級、選擧區又ハ投票區ヲ設ケテ議員ヲ選擧スル場合ニ於テハ選擧權者ノ屬スヘキ選擧區又ハ投票區、業種ニ分チ議員ヲ選擧スル場合ニ於テハ選擧權者ノ屬スヘキ業種ニ區別シテ調製スヘシ

選擧權者名簿ニハ選擧權者ノ氏名又ハ名稱、職業又ハ目的、住所、出生ノ年月日、納稅種目及地區內ニ於ケル納稅ノ額ヲ記載スヘシ但シ地區內ニ住所ヲ有セサル者ニ關シテハ地區內ニ於ケル營業所又ハ事務所ヲ記載シ其ノ數二箇以上アルトキハ商業會議所ニ於テ其ノ一ヲ選定シテ之ヲ記載スヘシ

商業會議所法第九條第四項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ニ關シテハ其ノ氏名、住所、出生ノ年月日、所得稅ノ納額、主トシテ職務ニ從事スル法人ノ名稱、資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額、其ノ職務及主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ヲ記載スヘシ

第十一條　商業會議所選擧權者名簿ヲ調製シタルトキハ十四日以上ニ於テ公示ノ期間ヲ定メ豫メ其ノ期間及場所ヲ公告シ其ノ事務所又ハ地方長官ノ許可ヲ得タル場所ニ於テ之ヲ縱覽ニ供スヘシ

第十二條　選擧權者選擧權者名簿ニ脫漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ縱覽期間內ニ其ノ理由書及證憑ヲ具ヘテ之ヲ商業會議所會頭ニ申立ツルコトヲ得

第十三條　會頭前項ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證憑ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以內ニ之ヲ決定スヘシ

其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選擧權者名簿ヲ修正シ其ノ旨ヲ申立人及關係人ニ通知シ其ノ申立ヲ正當ナラスト決定シタルトキハ直ニ之ヲ申立人ニ通知スヘシ

前項ノ規定ニ依リ選擧權者名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告シ且之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十四條　前條第一項ノ決定ニ不服アル申立人又ハ關係人ハ其ノ事由ヲ具シ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以內ニ地方長官ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ依リ選擧權者名簿ノ修正ヲ要スルトキハ商業會議所ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其ノ旨ヲ申立人及關係人ニ通知シ且其ノ要領ヲ公告スヘシ

第十五條　選擧權者名簿ハ第十一條ノ縱覽期間滿了後二十日ヲ經テ確定ス

前項ノ名簿ハ次年ノ名簿確定ノ日迄之ヲ据置クヘシ

第十六條　商業會議所ニ於テ議員ノ選擧ヲ要スルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ申出ツヘシ

第十七條　選擧委員ハ三名又ハ五名トシ内一名ヲ委員長トス

委員長ハ郡長又ハ市長ヲ以テ之ニ充ツ郡長又ハ市長事故アルトキハ其ノ代理者其ノ職務ヲ行フ

前項ノ場合ヲ除クノ外選擧委員事故アルトキハ地方長官ノ任命シタル豫備員中ヨリ委員長之ヲ補充ス

第十八條　選擧區又ハ投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選擧委員長ハ各選擧區又ハ投票區毎ニ投票管理者及其ノ代理者各一名竝立會人二名ヲ選任スヘシ

立會人事故アルトキハ投票管理者ハ臨時ニ立會人ヲ選任スヘシ

第十九條　地方長官ハ選擧ヲ行フヘキ日時及場所ヲ定メ選擧スヘキ議員ノ員數ト共ニ選擧ヲ行フヘキ日ヨリ少クトモ十五日前ニ之ヲ告示シ且之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十條　選擧ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

第二十一條　選擧權者名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票スルコトヲ得ス但シ選擧權者名簿ニ登錄セラルヘキ裁決書ヲ所持スルモノハ此ノ限ニ在ラス

選擧權者ヲ分チテ三級ト爲シタル場合ニ於テハ前項但書ノ選擧權者ハ其ノ者ノ經費ノ納額ニシテ名簿ニ登錄セラレタル一級選擧權者中ノ最少額ヨリ多キトキハ一級ニ於テ二級選擧權者中ノ最少額ヨリ多キトキハ二級ニ於テ其ノ他ハ三級ニ於テ選擧ヲ行フヘシ選擧權者ヲ分チテ二級ト爲シタル場合ニモ亦之ヲ準用ス

選擧權者名簿ニ登錄セラレタル者選擧權ヲ有セサルトキハ投票スルコトヲ得ス

第二十二條　法人、女子及無能力者ハ左ノ代人ヲ以テ選擧ヲ行フヘシ

一　法人ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事

二　無能力者ニ非サル女子ニ在リテハ自ラ選任シタル者

三　無能力者ニ在リテハ親權者、後見人、保佐人又ハ夫

商業會議所ノ地區内ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有セサル者ハ自ラ選任シタル者ヲ以テ選擧ヲ行フコトヲ得但シ法人又ハ無能力者ニ在リテハ前項ニ依リ其ノ代人ト爲リ得ル者ノ選任シタル者ヲ以テ其ノ代人ト爲スヘシ

代人ハ帝國臣民タル成年ノ男子ニシテ商業會議所法第十三條ニ該當セサル者ナルコトヲ要ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

代人選擧ヲ行ハムトスルトキハ其ノ代人タルコトヲ證スヘキ書面ヲ携帶スヘシ

第二十三條　選擧委員長又ハ投票管理者ハ選擧場ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條　投票ヲ爲スコトヲ得ル者、選擧委員其ノ他選擧事務ヲ監視シ又ハ選擧ノ事務ニ從事スル者及警察官吏ノ外選擧場ニ入ルコトヲ得ス

第二十五條　選擧委員ハ其ノ決議ニ依リ、投票管理者ハ立會人ノ意見ヲ聞キ投票ヲ爲スコトヲ得サル者ノ投票ヲ拒ムコトヲ得

第二十六條　選擧場ニ於テ演說、討論ヲ爲シ若ハ喧騷ニ渉リ又ハ投票ニ關シ協議、勸誘ヲ爲シ其ノ他選擧場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選擧委員長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選擧場外ニ退出セシムヘシ

前項ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選擧場閉鎖ノ後ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　投票ノ效力ハ選擧委員之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選擧委員長之ヲ決ス

第二十八條　有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ定款ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外投票ニ記載スヘキ被選擧人ノ數ヲ選擧權者又ハ議員選擧人ノ數ニ乘シ選擧スヘキ議員ノ數ヲ以テ之ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選者ニシテ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ、被選擧權ヲ有セサル爲當選無效ト爲リタルトキ又ハ農商務大臣ノ命ニ依リ當選ヲ取消サレタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス

本條ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取リ年齡ニ依リ難キトキハ抽籤ヲ以テ其ノ順位ヲ定ム

第二十九條　選擧終了シタルトキハ選擧委員長ハ直ニ其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第三十條　選擧委員長ハ選擧ニ關スル顚末ヲ記載シ選擧委員ノ連署シタル選擧記錄二本ヲ作リ一本ヲ地方長官ニ差出シ一本ハ投票ヲ添ヘ之ヲ商業會議所ニ交付スヘシ

前項ノ選擧記錄及投票ハ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ投票ハ有效無效ニ區別シテ之ヲ保存スヘシ

第三十一條　當選者定マリタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ當選者ニ告知スヘシ

第三十二條　當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以內ニ之ヲ地方長官ニ申出ツヘシ

一　人ニシテ二以上ノ階級、選擧區又ハ業種ノ選擧ニ當選シタルトキハ最後ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以內ニ何レノ當選ニ應スヘキカヲ申出ツヘシ其ノ申出ナキトキハ地方長官其ノ當選ノ階級、選擧區又ハ業種ヲ定ム

第三十三條　當選者ナキトキハ地方長官ハ更ニ選擧ヲ行ハシメ當選者選擧スヘキ議員ノ數ニ達セサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ對シ選擧ヲ行ハシムヘシ

第三十四條　第三十二條ニ依リ當選確定シタルトキハ地方長官ハ直ニ其ノ旨ヲ當選者ニ告知スヘシ

當選者ノ氏名又ハ名稱ハ地方長官之ヲ告示シ且之ヲ商業會議所ニ通知スヘシ

法人議員ニ當選シタルトキハ當選確定ノ日ヨリ十日以內ニ代表者ノ氏名、其ノ法人ニ於ケル地位、住所及出生ノ年月日ヲ商業會議所ニ屆出ツヘシ代表者變更ノ場合亦同シ

第三十五條　左ノ各號ニ該當スル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

一　詐僞ノ方法ヲ以テ選擧權者名簿ニ登錄セラレタル者

二　選擧委員、投票管理者又ハ立會人ニシテ正當ノ事由ナク本令ニ定メタル義務ヲ缺キタル者

第三十六條　選擧ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除クノ外二月以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一　選擧ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選擧權者、議員選擧人、代人又ハ選擧運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者竝供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二　選擧ニ關シ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選擧場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者竝此等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

三　選擧場ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ノ投票ニ關渉シ又ハ被選擧人ノ氏名又ハ名稱ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者

第三十七條　左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除クノ外二月以下ノ禁錮ニ處ス

一　詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者

二　選擧權者、議員選擧人又ハ代人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ選擧權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ爲サシメタル者

三　選擧委員、投票管理者、立會人其ノ他選擧事務ヲ監視シ又ハ選擧事務ニ關係アル者ニシテ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ノ投票シタル被選擧人ノ氏名又ハ名稱ニ付眞僞ニ拘ラス之ヲ表示シタル者

四　選擧ニ關シ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

五　選擧委員、投票管理者、立會人其ノ他選擧事務ヲ監視シ又ハ選擧事務ニ關係アル者ニ暴行脅迫ヲ加ヘ又ハ選擧場ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者

第三十八條　當選者其ノ選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ農商務大臣ハ其ノ當選ヲ取消スヘシ

第三十九條　本令中議員選擧ニ關スル規定ハ議員選擧人ノ選擧ニ之ヲ準用ス

第四十條　商業會議所法第五十條第一項ニ依リ議員ノ選擧ヲ行ハムトスルトキハ議員ノ定數、選擧方法其ノ他選擧ニ關スル規定ノ認可ヲ受ケタル日ノ現在ニ依リ選擧權者名簿ヲ調製スヘシ

第四十一條　本令ハ商業會議所法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正五年農商務省令第十三號附則）

本令ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

商業會議所ハ大正五年七月一日ノ現在ニ依リ選擧權者名簿ヲ調製シ次回ノ名簿確定ノ日迄之ヲ据置クヘシ

商業會議所法及附屬諸法規改正要點說明書

一　改正商業會議所法說明書（――印ハ改正ノ部分ナリ以下倣之）

改正商業會議所法規定

第九條　帝國臣民又ハ帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區內ニ營業所又ハ事務所ヲ有シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ議員ノ選擧權ヲ有ス但シ合名會社ニ在テハ社員ノ半數以上、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ半數以上、株式會社ニ在リテハ取締役ノ半數以上帝國臣民タルコトヲ要ス

一　自己ノ名ヲ以テ商法第二百六十三條第二百六十四條第一號第三號乃至第六號及第八號乃至第十二號ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者

二　自己ノ名ヲ以テ製造及加工ニ關スル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者

三　取引所營業稅ヲ納ムル取引所

舊商業會議所法規定

第九條　帝國臣民又ハ帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區內ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ議員ノ選擧權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ半數以上、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ半數以上、株式會社ニ在リテハ取締役ノ半數以上帝國臣民タルコトヲ要ス

一　自己ノ名ヲ以テ商法第二百六十三條第二百六十四條第一號第三號乃至第六號及第八號乃至第十二號ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者

二　自己ノ名ヲ以テ製造及加工ニ關スル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者

三　取引所稅ヲ納ムル取引所

說明

イ、第一項中「主タル」ヲ削除セルハ支店出張所ニモ議員ノ選擧權ヲ與フルト共ニ經費ヲ分擔セシメムカ爲ナシタル改正ニシテ從來ハ會議所地區內ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有スル者ニ限リ議員ノ選擧權ヲ有シ解釋上支店出張所ノ如キハ選擧權無カリシモ此ノ改正ニ依リ會議所地區內ニ單ニ營業所又ハ事務所ヲ有スルヲ以テ足ルコトトナリ支店出張所モ議員ノ選擧權ヲ有スルト共ニ經費負擔ノ義務ヲ負フコトトナレリ

ロ、「取引所稅」ヲ「取引所營業稅」ニ改メタルハ大正三年取引所稅法ノ改正ニ基ク

ハ、「鑛業稅」ヲ「鑛產稅」ニ改メタルハ明治三十八年鑛業法ノ改正ニ基ク

ニ、「賣藥營業稅ヲ納ムル賣藥營業者」ヲ新ニ追加セルハ賣藥營業稅ヲ納ムル者ハ議員ノ選擧權及被選擧權ノ關係ニ於テ普通ノ營業稅ヲ納ムル者ト何等區別スヘキ理由ヲ見サルニ因ル

ホ、第二項中「納稅ノ額」ヲ「地區內ニ於ケル納稅ノ額」ニ改メタルハ從來ハ主タル營業所又ハ事務所ニノミ選擧權ヲ與フルニ止マリタルヲ以テ「納稅ノ額」ナル文字ハ「商業會議所ノ地區內ニ於ケル納稅ノ額

四　鑛産税ヲ納ムル鑛業權者

五　賣藥營業税ヲ納ムル賣藥營業者

前項地區内ニ於ケル納税ノ額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

商業會議所ノ地區ノ内外ニ於テ營業所又ハ事務所ヲ有シ營業税又ハ鑛産税ヲ分別シテ納メサル者ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ヲ以テ其ノ地區内ニ於ケル納税額ト看做ス

帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區内ニ營業所又ハ事務所ヲ有シ第一項各號ノ一ニ該當スルモノノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事又ハ登記シタル支配人ニシテ所得税ヲ納ムル帝國臣民ハ其ノ主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ノ所在地ニ於テ議員ノ選擧權ヲ有ス

前項納税ノ額及法人ノ資本總額又ハ財産ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選擧權有セス

一　身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル時ヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

二　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

三　禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

第十二條　法人及年齡三十歲以上ノ男子ニシテ二箇年以來議員ノ選擧權ニ關スル要件ヲ具備スル者ハ議員ノ被選擧權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員帝國臣民タルコトヲ要ス

家督相續ヲ爲シタル者ニ付テハ第九條第一項ノ規定ニ依ル議員ノ選擧權ニ關スル要件ニシテ被相續人ノ具備シタルモノハ之ヲ其ノ者ノ具備シタルモノト看做ス

第十八條　議員ノ選擧ハ選擧人自ラ之ヲ

四　鑛業税ヲ納ムル鑛業權者

前項納税ノ額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區内ニ營業所又ハ事務所ヲ有シ第一項各號ノ一ニ該當スルモノノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事又ハ登記シタル支配人ニシテ所得税ヲ納ムル帝國臣民ハ其ノ主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ノ所在地ニ於テ議員ノ選擧權ヲ有ス

前項納税ノ額及法人ノ資本額又ハ財産ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選擧權ヲ有セス

一　身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル時ヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

二　剝奪公權者及停止公權者

三　禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

第十二條　法人及年齡三十歲以上ノ男子ニシテ二箇年以來議員ノ選擧權ニ關スル要件ヲ具備スル者ハ議員ノ被選擧權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員帝國臣民タルコトヲ要ス

第十八條　議員ノ選擧ハ選擧人自ラ之ヲ

ト解釋セラレ居タリシモ今回第一項中「主タル」ノ文字ヲ削除シ支店出張所ニモ選擧權ヲ與フルコトトナシタル結果單ニ「納税ノ額」ト云フトキハ「地區内ニ於ケル納税ノ額」ト當然解釋スルヲ得スシテ納税ノ場所ヲ限定セサルヤノ疑義生スルノ虞アルヲ以テ「主タル」ノ文字ノ削除ニ伴ヒ特ニ「地區内ニ於ケル納税ノ額」ト明ニ規定スルノ必要アルニ因ル

、第三項ノ新規定ヲ設ケタルハ第一項中「主タル」ノ文字ヲ削除シ本店タルト支店タルトヲ問ハス各營業所又ハ事務所ニ選擧權ヲ與フルコトト爲シタル結果商業會議所ノ地區ノ内外ニ於テ營業所又ハ事務所ヲ有シ營業税又ハ鑛産税ヲ各營業所又ハ事務所毎ニ分別シテ納税セス從テ又地區内ニ於ケル納税ノ額ヲ區分シ得サル者ニ付テハ第九條第二項ノ適用上地區内ニ於ケル納税ノ額ト看做スヘキ金額ヲ定ムルノ必要アルカ爲ニシテ本規定ニ基キ施行規則第八條ヲ以テ此ノ金額ノ算出方法ヲ規定シタリ

本條第二號ノ改正ハ刑法改正ノ結果剝奪公權及停止公權ナル附加刑處分廢止セラレタルヲ以テ新刑法ノ規定ニ依リ「剝奪公權者及停止公權者」ニ相當スル者ニ改メタルニ外ナラス（附則第二項參照）

第二項ノ新規定ヲ設ケタルハ被選擧權ノ取得ニ關シ家督相續人ヲシテ被相續人ノ具備セシ選擧權ニ關スル各種ノ要件ヲ繼承セシメムカ爲ナリ

行フヘシ但シ法人、女子及無能力者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ代人ヲ以テ之ヲ行フ

商業會議所ノ地區内ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有セサル者ハ命令ノ定ル所ニ依リ代人ヲ以テ選擧ヲ行フコトヲ得

第二十四條　議員ノ任期ハ四箇年トス

第二十六條　特別議員ハ議員ノ改選期毎ニ解任ス

第三十條　商業會議所ノ經費ハ議員ノ選擧權ヲ有スル者ニ於テ之ヲ負擔ス

選擧權ヲ停止セラレタル者ハ停止中ト雖經費ヲ負擔ス

商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十三條　經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ會頭ノ請求アルトキ

行フヘシ但シ法人、女子及無能力者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ代人ヲ以テ之ヲ行フ

第二十四條　議員任期ハ四箇年トシ二箇年毎ニ其ノ半數ヲ改選ス若シ二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ改選ス初回ノ改選期及減員ノ場合ニ於テ解任者ヲ定ムル方法ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條　特別議員ハ議員ノ半數改選期毎ニ解任ス

第三十條　商業會議所ノ經費ハ議員ノ選擧權ヲ有スル者ニ於テ之ヲ負擔ス

選擧權ヲ停止セラレタル者ハ停止中ト雖經費ヲ負擔ス

第三十三條　過怠金ヲ滯納シ督促ヲ受クルモ尚之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納

是本法第九條改正ノ結果選擧權ヲ有スルコトトナリタル支店出張所ニ付テ代人選擧ヲ認メムカ爲ノ追加規定ナリ而シテ其ノ如何ナル者ヲ以テ代人ト爲シ得ルヤニ付テハ選擧規則第二十二條ヲ以テ之ヲ規定セリ

是從來ノ議員半數改選ノ制度ヲ廢止シ四年毎ニ總選擧ヲ行ハシメムカ爲ナシタル改正ナリ（附則第三項參照）

是本法第二十四條ノ改正ニ伴フ當然ノ改正ナリ

本條第三項ノ新規定ヲ設ケタルハ第三十三條ヲ改正シ經費ニ付强制徵收ノ途ヲ開キタルニ伴ヒ商業會議所ノ經費ノ賦課ハ其ノ重要ノ度ヲ加ヘタルヲ以テ之ニ關スル制限モ特ニ勅令ヲ以テ規定スルヲ相當ト認メタルニ因ル而シテ此ノ規定ニ基キ大正五年勅令第百七十號ヲ以テ經費賦課ニ關スル制限ヲ定メタリ

本條第一項前段ハ經費ノ徵收ニ關シ國稅滯納處分ノ例ニ依リ强制徵收ヲ爲スノ途ヲ開クカ爲ナシタル改正ニ

ハ市町村ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商業會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項ノ徵收金ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付時效ニ關シテハ國稅ノ例ニ依ル

第四十八條　本法中市町村ニ關スル規定ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

附　則

本法ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ、舊刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復權ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス

本法施行ノ際現ニ議員タル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ徵收金ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付時效ニ關シテハ國稅ノ例ニ依ル

滯納處分ハ滯納者住所地ノ市參事會、町村長之ヲ行フ

第四十八條　本法中市町村、市參事會、町村長ニ關スル規定ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

シテ同時ニ經費又ハ過怠金ノ滯納處分ハ會頭ノ請求ニ應シ市町村之ヲ行フヘキ旨規定セリ次ニ本項後段ノ規定ヲ設ケタルハ市町村ヲシテ商業會議所ノタメニ經費又ハ過怠金ノ滯納處分ヲ爲サシムルハ市町村ニ特別ノ負擔ヲ課スルモノナルヲ以テ之ニ報償トシテ相當ノ金額ヲ商業會議所ヨリ交付セシムルヲ至當ト認メタルニ因ル

舊規定第三項ヲ削除シタルハ第一項ノ改正ニヨリ本項ノ規定ハ第一項中ニ包括シテ規定セラルヽニ至リタルヲ以テ也

是第三十三條第三項削除ノ結果本法中ニ市參事會及町村長ニ關スル規定ナキニ至レルヲ以テ茲ニ之ヲ揭クルノ必要ナキニ因ル也

是第十條第二號ヲ改正シテ新刑法ノ規定ニ依ルコトトナセルヲ以テ舊刑法ニ依リ處分ヲ受ケタル者ニ適用スヘキ補充規定トシテ設ケタル也

是第二十四條ヲ改正シ議員ノ半數改選ノ制度ヲ廢止シ總選擧ノ方法ニ依ルコトトナシタルヲ以テ也

第三十三條ノ規定ハ本法施行ノ日ノ屬スル會計年度ニ於テ賦課シタル經費ヨリ之ヲ適用ス

二　商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ノ件說明書

商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ノ件

第一條　商業會議所ノ經費ノ賦課ハ左ノ各號ニ依ル

一　商業會議所法第九條第一項ノ規定ニ依リ議員ノ選擧權ヲ有スル者ニハ其ノ者ノ納ムル營業稅、取引所營業稅、鑛產稅又ハ賣藥營業稅ノ稅額割

二　商業會議所法第九條第四項ノ規定ニ依リ議員ノ選擧權ヲ有スル者ニハ人頭割

商業會議所法第九條第一項及同條第四項ニ該當スル者ニハ稅額割ト人頭割トヲ併課スルコトヲ得

第二條　稅額割ハ地區內ニ於ケル納稅ノ額ヲ標準トシ左ノ制限內ノ賦課率ニ依リ之ヲ定ムヘシ

一　營業稅　百分ノ二十

二　取引所營業稅　百分ノ十

三　鑛產稅　百分ノ二十

四　賣藥營業稅　百分ノ十五

人頭割ノ賦課額ハ所得稅納額ヲ標準トシ等級ニ區分シ各級ニ屬スル者ノノ最低納稅額ノ百分ノ十以內ニ於テ各級每ニ之ヲ定ムヘシ但シ等級ニ區分セス此ノ制限內ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ妨ケス

第三條　商業會議所法第四十三條ノ規定ニ依ル經費ヲ賦課徵收スル場合ニ於テハ前條ノ制限率ニ依ラサルコトヲ得

附　則

本令ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル賦課方法ハ本令施行ノ日ノ屬スル會計年度ニ限リ仍其ノ效力ヲ有ス

三　改正商業會議所法施行規則說明書

改正施行規則規定

第一條　商業會議所發起ノ認可ヲ申請セ

舊施行規則規定

第一條　商業會議所發起ノ認可ヲ申請セ

第十四條第一項　商業會議所ノ經費ハ資本金額ヲ標準トシテ之ヲ賦課スルコトヲ得ス

第十四條第四項　商業會議所法第九條第三項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ニ對シテハ人頭割ニ依ルノ外經費ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ同時ニ商業會議所法第九條第一項各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條第二項　納稅額ヲ標準トシテ經費ヲ賦課スル場合ニ於テハ營業稅及鑛業稅ニ在リテハ其ノ百分ノ二十五取引所稅ニ在リテハ其ノ百分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十四條第三項　人頭割ハ等級ヲ定メテ之ヲ賦課スルコトヲ得

四、賣藥營業稅割ニ付ト新ニ規定シ其ノ制限ヲ本稅ノ百分ノ十五トナシタルコト

右ハ商業會議所法第九條第一項ノ改正ニ基クモノニシテ普通ノ營業稅ト比較シ及市町村附加稅制限ヲ參酌シ其ノ制限ヲ定メタリ

五、人頭割ハ所得稅ヲ標準トシ等級割ニテ最低納稅額ノ百分ノ十以內ニ於テ其ノ賦課額ヲ定メシムルコトトナシタルコト

右ハ從來ノ實例ヲ參酌シタルニ因ル尤モ右ノ制限內ニ於テ均一賦課ヲ爲スヲ得セシメタリ

六、第三條ノ特例ヲ設ケタルコト

右ハ商業會議所解散ノ後ニ於テ其ノ債務ヲ完濟スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルニ當リテハ第二條ノ制限率ニ依ルコトヲ得サル場合生スルコトナキニアラサルヲ以テ也

七、附則第二項ノ特例ヲ設ケタルハ本令施行ト同時ニ本令ノ規定ニ抵觸スル賦課方法ヲシテ直ニ其ノ效力ヲ失ハシムルハ實際上ノ支障尠カラサルヘキヲ以テ也

說明

第一條ノ改正規定中從來ト異ナル點ヲ擧クレハ左ノ如シ

是本法施行期日ノ屬スル會計年度ニ於テ賦課シタル經費全部ニ付テ强制徵收權ヲ認ムルト同時ニ本法施行期日ノ屬スル會計年度以前ニ賦課シタル經費ニ强制徵收權カ淵及セサルコトヲ明ニスルカ爲設ケタル規定也

說明

商業會議所法第三十條ノ改正ニ伴ヒ商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ハ勅令ヲ以テ規定スルコトトナリタルニ付從來ノ省令（舊施行規則第十四條）ヲ參照シテ本勅令ヲ制定セラル其ノ從前ノ規定ト異ナル要點左ノ如シ

一、商業會議所法第九條第一項ノ規定ニ依リ選擧權ヲ有スル者ニハ稅額割ノミヲ賦課セシメ人頭割ノ併課ヲ禁シタルコト

右ハ人頭割ノ併課ハ納稅額少キ者ニ對シ割合ニ負擔ヲ重クスルカ故ナリ

二、營業稅割及鑛產稅割ノ制限ヲ各本稅ノ百分ノ二十ニ低下シタルコト

右ハ從來ノ實例及市町村附加稅制限ヲ參酌セルニ因ル

三、取引所營業稅割ノ制限ヲ本稅ノ百分ノ十トナシタルコト

右ハ取引所稅法ノ改正ト市町村附加稅制限トヲ參酌セルニ因ル

ムトスルトキハ申請書ニ發起人カ法定ノ資格ヲ有スルコトヲ證スル書類及左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ發起人連署シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一　商業會議所設立ノ理由

二　最近五箇年間ノ事業計畫及商業會議所法第七條第八號ニ該當スル事業ニ付テハ之ト公共團體ノ事業トノ關係竝之ヲ必要トスル理由

三　地　區

四　議員ノ選擧權ヲ有スヘキ者及被選擧權ヲ有スヘキ者ノ數

五　創立費豫算

六　一會計年度ニ要スル經費ノ收支概算

七　市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスルトキハ其ノ特別ノ事情

ムトスルトキハ申請書又ハ其ノ附屬書類ニ左ノ事項ヲ記載シ發起人連署シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一　商業會議所設立ノ理由

二　地　區

三　議員ノ選擧權ヲ有スヘキ者及被選擧權ヲ有スヘキ者ノ數

四　發起人カ議員ノ被選擧權ヲ有スヘキ資格

五　創立費豫算

六　市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスルトキハ其ノ特別ノ事情

前項ノ外發起人ハ農商務大臣ノ命ニ依リ商工業ノ狀況其ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載シタル書類ヲ差出スヘシ

一、商業會議所發起ノ認可申請書ニ添附スヘキ書類記載事項トシテ從來ノモノノ外尙左ノ二項ヲ追加シタルコト

イ、最近五箇年間ノ事業計畫及商業會議所法第七條第八號ニ該當スル事業ニ付テハ之ト公共團體ノ事業トノ關係竝之ヲ必要トスル理由

ロ、一會計年度ニ要スル經費ノ收支概算

右ハ發起ヲ認可スヘキヤ否ヤヲ審査スルニ當リテ參考資料トシテ必要缺クヘカラサルモノニ屬スルヲ以テ也而シテ(イ)ニ掲ケタル事項ヲ特ニ記載セシルコトトナシタルハ何等ノ事業計畫ナク又ハム商業會議所ノ事業トシテ爲スヲ必要トスル事業ナキニ拘ラス漫然商業會議所設立ノ發起ヲ爲スコトヲ避ケシメムカ爲也

二、舊規定第一條第二項ヲ削除シタルコト

右ハ特ニ規定スル必要ナキニ因ル

市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスル場合ニ於テハ各市町村ニ少クトモ一人ノ發起人アルコトヲ要ス

第三條　發起人設立ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ定款及法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書類ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスル場合ニ於テハ各市町村ニ付議員ノ選擧權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得タルコトヲ要ス

第七條　商業會議所法第九條第二項ニ依リ商業會議所ノ地區內ニ於ケル納稅ノ額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ム

	商業會議所所在地名	營業稅	鑛產稅	取引所營業稅	賣藥營業稅
第一	東京	百圓以上	百圓以上	二千圓以上	八十圓以上
第二	大阪	七十五圓以上	七十五圓以上	千圓以上	六十圓以上
第三	京都、橫濱、神戶、名古屋	四十圓以上	四十圓以上	五百圓以上	四十圓以上
第四	其ノ他	二十圓以上	二十圓以上	百圓以上	二十圓以上

市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスル場合ニ於テハ各市町村ニ少クトモ一人ノ發起人アルコトヲ要ス

第三條　發起人設立ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ定款及一年度經費ノ豫定額竝議員ノ選擧權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上カ之ニ同意シタルコトヲ證スル書類ヲ添附シテ農商務大臣ニ差出スヘシ

市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスル場合ニ於テハ各市町村ニ付キ議員ノ選擧權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得タルコトヲ要ス

明治三十五年農商務省令第十六號　商業會議所法第九條第二項ニ依リ納稅額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ム

第一條　商業會議所法第九條第二項ニ依リ納稅額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ム

營業稅

	商業會議所所在地名	納稅額
第一	東京	百圓以上

商業會議所ノ議員選擧權ニ關スル納稅額及資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額ノ件

舊規定中ヨリ「一年度經費ノ豫定額」ヲ削除シタルハ第一條ヲ改正シ發起ノ認可申請書ニ「一會計年度ニ要スル經費ノ收支概算書」ヲ添附セシムルコトトナシタルニ因ル

商業會議所ノ議員選擧權ニ關スル納稅額及資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額ノ制限ニ付テハ從來單行省令ヲ以テ規定セラレ居タリシモ今回之ヲ改正スルノ必要アルヲ以テ旁々右省令ヲ廢止シ施行規則中ニ新ニ規定スルコトトナセリ（附則第二十八條參照）

今此ノ新規定ニ付說明スレハ

甲、商業會議所法ノ改正ニ伴フ當然ノ改正

イ、「納稅ノ額」ヲ「地區內ニ於ケル納稅ノ額」下限定シタルコト（第七條）

ロ、商業會議所ノ地區ノ內外ニ於テ營業所又ハ事務所ヲ有シ營業稅又ハ鑛產稅ヲ分別シテ納メタル者ニ付テ地區內ニ於ケル納稅ノ額ト看做スヘキ金額

第八條　商業會議所法第九條第三項ニ掲ケタル者ニ付テハ商業會議所ノ地區ノ屬スル市町村ニ於テ營業稅又ハ鑛產稅附加稅賦課ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ其ノ歩合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ地區內ニ於ケル納稅ノ額ト看做ス

前項歩合ノ定ナキトキハ商業會議所ニ於テ其ノ地區內ニ於ケル納稅ノ額ト看做スヘキ金額ヲ算出シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條　商業會議所法第九條第五項ニ依リ納稅ノ額及法人ノ資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ム

	商業會議所所在地名	資本額又ハ出資額	所得稅
第一	東京	五十萬圓以上	七十圓以上
第二	大阪	四十萬圓以上	五十圓以上
第三	京都、神戸、横濱、名古屋	二十萬圓以上	三十圓以上
第四	其ノ他	十萬圓以上	二十圓以上

同第二條　商業會議所法第九條第四項ニ依リ納稅額及法人ノ資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ム

	商業會議所所在地名	資本額又ハ出資額	所得稅
第一	東京	五拾萬圓以上	七拾圓以上
第二	大阪	四拾萬圓以上	四拾五圓以上
第三	京都、神戸、横濱、名古屋	參拾萬圓以上	四拾五圓以上
第四	其ノ他	拾萬圓以上	貳拾圓以上

同第三條　地方ノ狀況ニ依リ前二條ニ依リ難キトキハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ特ニ其ノ制限ヲ設クルコトヲ得

商業會議所法第五十條ノ場合ニ於テハ前項ノ制限ハ議員ノ定數、選擧方法其ノ他選擧ニ關スル必要ナル規定中ニ於テ之ヲ定ムヘシ

同第四條　商業會議所設立ノ際前條第一項ノ特例ヲ設ケムトスルトキハ商業會議所法施行規則第一條ノ手續ヲ爲ス前豫メ其ノ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差

	商業會議所所在地名	納稅額
第二	大阪、横濱	七拾五圓以上
第三	京都、神戸、名古屋	五拾圓以上
第四	其ノ他	貳拾五圓以上

鑛產稅

	商業會議所所在地名	納稅額
第一	東京	四拾圓以上
第二	大阪、横濱	參拾圓以上
第三	京都、神戸、名古屋	貳拾圓以上
第四	其ノ他	拾圓以上

取引所稅

	商業會議所所在地名	納稅額
第一	東京、大阪、横濱	貳萬圓以上
第二	京都、神戸、名古屋	六千圓以上
第三	其ノ他	貳千圓以上

ノ算出方法ヲ定メタルコト（第八條）

右ニ付テハ便宜上且又公平正確ヲ期セムカ爲商業會議所ノ地區ノ屬スル市町村ニ於テ「市稅及町村稅ノ賦課ニ關スル件」（明治四十四年勅令第二百四十一號）ニ基キ營業稅又ハ鑛產稅附加稅賦課ノタメ其ノ本稅額ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ之ニ依ラシメ若シ其ノ定ナキトキハ商業會議所ヲシテ算出セシメ地方長官ノ認可ヲ受ケシムルコトトナセリ

ハ、賣藥營業稅ニ付テ新ニ納稅制限額ヲ定メタルコト（第七條）

ニ、「取引所稅」ヲ「取引所營業稅」ニ改メタルコト（第七條）

乙、其ノ他ノ改正

一、納稅制限額ノ改正

イ、會議所所在地ノ區分ニ付改正ヲ爲シタルコト

右ノ區分ハ各地方ノ最近ノ經濟狀態ヲ參酌シ四階級トナシ各本稅及資本額ノ制限ヲ定ムルニ當リ一樣ニ之ニ從フコトトセリ

ロ、納稅制限額ヲ定メタル標準

營業稅納稅者カ選擧權者ノ大部分ヲ占ムルノ實情ニ鑑ミ營業稅ノ納稅制限額ヲ先第一ニ定メタルカ之ニ付テハ從來ノ實例及營業稅法ノ改正ヲ參酌シ尙各地方夫々相當ノ選擧權者數アラシムル樣ナセリ

次ニ鑛產稅及賣藥營業稅ノ制限額ニ付テハ大體右ノ營業稅ノ制限額ヲ標準トシ納稅者ノ營業狀態、地位、資產等ノ關係ニ於テ同位ニアラシムル樣之ヲ定メタリ

取引所營業稅ノ制限額ニ付テハ各取引所ヲシテ選擧權ヲ有セシムル樣之ヲ定メタリ

二、法人ノ資本額又ハ出資額ノ制限ハ大體ニ於テ從來ノ實例ヲ參酌シ之ヲ整理セリ所得稅ノ制限額ニ付亦同シ（第九條）

三、地方ノ狀況ニ依リ定款ヲ以テ特別制限ヲ設ケ得ル特例ヲ廢止シタルコト

從來右ノ特例アリシカ爲制限額動モスレハ低下ニ流ルルノ嫌ナキニアラス且各會議所間ノ制限額不整一ニ傾クノ嫌アリシヲ以テ省令所定ノ制限額ヲ可成實例ニ適セシムル樣整理シ此ノ特例ヲ廢止スルコトトナセリ（附則第二十九條參照）

第十條　商業會議所ハ議員ノ當選者アル毎ニ其ノ氏名、法人ニ關シテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ代表者變更ノ場合亦同シ

出スヘシ

同第五條　本令ハ商業會議所法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（明治三十九年農商務省令第三十四號附則）

本令ハ各商業會議所毎ニ次回ノ選擧權者名簿調製ノ期日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前明治三十五年農商務省令第十六號第三條ニ依リ特ニ設ケタル制限ハ本令施行後其ノ效力ヲ失フ

本令施行ノ際明治三十五年農商務省令第十六號第三條ニ依リ特ニ制限ヲ設ケムトスル者ハ本令施行前認可ヲ受クルコトヲ得

第七條　商業會議所ハ議員ノ當選者アル毎ニ其ノ氏名、職業、身分、住所、生年月、納稅種目及納稅額ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ法人ニ關シテハ其ノ名稱、目的、住所、設立ノ年月日、資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額、納稅種目及納稅額ヲ報告スヘシ

商業會議所法第九條第三項ニ依リ議員ノ被選擧權ヲ有スル者當選シタルトキハ前項ノ外其ノ主トシテ職務ニ從事スル法人ノ目的、納稅種目、納稅額及資本

新規定第十條ハ舊規定第七條、第九條第二項及第十條ヲ合併シテ規定セルモノニシテ從來ト異ルハ報告事項ヲ簡單ニセルニアリ

特別議員ノ選定又ハ任命アリタルトキハ商業會議所ハ履歷書ヲ添附シ其ノ氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十二條　商業會議所ニ於テ役員ヲ選任シタルトキハ其ノ履歷書、法人ニ關シテハ其ノ代表者ノ履歷書ヲ添附シ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

額又ハ財產ヲ目的トスル出資額竝其ノ法人ニ於ケル地位ヲ報告スヘシ

階級選擧區又ハ業種ニ分チテ選擧ヲ行ヒタル場合ニ於テハ前二項ノ外當選者ノ屬スル階級、選擧區又ハ業種ヲ報告スヘシ

特別議員ノ選定又ハ任命アリタルトキハ商業會議所ハ履歷書ヲ添附シ其ノ氏名、職業、身分、住所、生年月ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第九條　法人議員ニ當選シタルトキハ當選確定ノ日ヨリ二十日以內ニ代表者ノ氏名、其ノ法人ニ於ケル地位、身分、住所及生年月ヲ商業會議所ニ屆出ツヘシ代表者變更ノ場合亦同シ

商業會議所ハ前項屆出ノ事項ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十條　第七條及第九條ニ依リ報告シタル事項ニ變更アリタルトキハ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十一條　商業會議所役員ヲ選任シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添附シ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

舊規定第九條第一項ハ之ヲ施行規則中ヨリ削除シ選擧規則第三十四條第三項ヲ以テ新ニ規定スルコトトナシ同時ニ屆出期限「二十日以內」ヲ「十日以內」ニ短縮セリ

第十二條ノ新規定カ從來ト異ナル點ハ法人ニ關シテハ其ノ代表者ノ履歷書ヲ差出スヘキ旨ヲ明ニシタルニ在リ

役員タル法人ノ代表者變更ノ場合ニハ履歴書ヲ添附シ其ノ氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

役員ノ退任アリタルトキハ其ノ事由及氏名又ハ名稱ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ農商務大臣ニ於テ解任ヲ命シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　商業會議所ニ於テ書記長ヲ命シタルトキハ履歴書ヲ添附シ之ヲ免シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十四條　商業會議所ニ於テ商業會議所法第七條第八號ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一　其ノ事業ヲ必要トスル理由

二　事業計畫

三　其ノ事業ニ要スル費用ノ豫算

四　其ノ事業ト公共團體ノ事業トノ關係

第十五條　商業會議所ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

役員ノ退任アリタルトキハ其ノ事由及氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ農商務大臣ニ於テ解任ヲ命シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　商業會議所ニ於テ商業會議所法第七條第八號ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ其ノ理由ヲ記載シ事業ノ計畫及費用ニ關スル詳細ノ調書ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

商業會議所ニ於ケル書記長ノ地位重要ナルニ鑑ミ今回特ニ第十三條ノ新規定ヲ設クルコトトナセリ

第十四條ノ新規定中從來ト異ナル點ハ添附書類記載事項ニ其ノ事業ト公共團體ノ事業トノ關係ヲ追加シタルニ在リ

右ハ實際上ノ必要及第一條第二號ノ新規定トノ關係ニ依ル

商業會議所ノ會計年度ニ付テハ從來法令中ニ何等規定スル所ナク各會議所ニ於テ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトトナリ居リシヲ以テ其ノ定ムル所區々ニ亙リ諸般ノ監督上支障尠カラス仍テ今回會計年度ニ付テ新ニ規定シ

第十六條　商業會議所ノ經費ハ其ノ負擔義務ノ發生シタル月ノ初ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄ノ月割額以上ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ商業會議所ニ於テ既ニ徴收シタル經費ハ之ヲ還付セサル旨ヲ定ムルコトヲ妨ケス

會計年度一年ニ滿タサル場合ニ於テハ大正五年勅令第百七十號第二條ノ制限ハ其年度ノ開始シタル月ノ初ヨリ其ノ終了シタル月ノ終迄ノ月割ヲ以テ之ヲ計算スヘシ

第十四條　商業會議所ノ經費ハ資本金額ヲ標準トシテ之ヲ賦課スルコトヲ得ス納稅額ヲ標準トシテ經費ヲ賦課スル場合ニ於テハ營業稅及鑛業稅ニ在リテハ其ノ百分ノ二十五取引所稅ニ在リテハ其ノ百分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

人頭割ハ等級ヲ定メテ之ヲ賦課スルコトヲ得

商業會議所法第九條第三項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ニ對シテハ人頭割ニ依ルノ外經費ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ同時ニ商業會議所法第九條第一項各號ノ之ヲ統一スルコトト爲シタリ（附則第三十條參照）

一會計年度ヲ通シテ選擧權ヲ有スル者ニ對シテハ別ニ問題ナキモ會計年度ノ中途ニテ選擧權ヲ取得シ又ハ喪失シタル者ニ對シテハ其ノ年度全部ノ經費ヲ賦課シ得ルヤ否ヤニ關シ從來ノ取扱區々ニ分レ居タリシモ會議所ノ經費ハ月割ヲ以テ之ヲ負擔セシムル方至當ナルヘキヲ以テ今回特ニ此ノ旨ヲ規定シ同時ニ一旦徴收シタル經費ニ付テハ月割トセハ過徴トナル場合ニ於テモ之ヲ還付セサル旨ヲ定ムルコトヲ得セシメタリ

本條第二項ハ會計年度一年ニ滿タサル場合ニ於テ經費ノ賦課ニ關スル制限ヲ月割ニテ計算スヘキ旨ヲ定メタルモノニシテ實際上ノ必要ニ基ク注意規定ナリ

商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ハ商業會議所法第三十條第三項ノ追加規定ニ基キ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトナリタルヲ以テ舊規定第十四條ハ之ヲ削除セリ

第十七條　商業會議所ハ毎年一月末日迄ニ次年度ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ但シ創立ノ場合ニ於テハ決議ノ日ヨリ七日以内ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ變更ノ認可ハ決議ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ申請スヘシ

第十八條　商業會議所ハ毎年七月末日迄ニ前年度ノ經費ノ決算ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

前項報告ニハ前年度末日現在ニ依リ調製シタル財産目錄ヲ添附スヘシ

第十九條　商業會議所ハ會計年度ニ依リ事業成績書ヲ調製シ前條報告ト同時ニ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二十五條　商業會議所法第三十五條第一項又ハ第三十七條第一項ノ決議ニ關スル認可申請書ニハ會議ノ議事錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

附則

第二十七條　本則ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　商業會議所ハ其ノ會計年度ニ箇月前ニ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ但シ創立ノ場合ニ於テハ決議ノ日ヨリ七日以内ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ變更ノ認可ハ決議ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ申請スヘシ

第十六條　經費ノ決算ハ財産目錄ヲ添附シ會計年度經過後四箇月以内ニ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十二條　商業會議所法第三十五條第一項又ハ第三十七條ノ決議ニ關スル認可申請書ニハ法定ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書類ヲ添附スヘシ

第十七條及第十八條ノ新規定カ從前ト異ナル點ハ第十五條ヲ以テ會計年度ヲ統一シタルニ伴ヒ經費ノ豫算及賦課徴收方法並經費ノ決算報告ノ期限ヲ暦日ヲ以テ確定シタルニ在リ

尚第十八條第二項ヲ以テ財産目錄ノ調製期日ヲ確定シタリ

商業會議所法第三十六條第二項ノ規定ニ基ク事業成績書ノ調製期間及提出期限ニ付從來何等ノ定ナカリシカ爲監督上支障尠カラサリシニ依リ今回此等ニ付テ確定スルコトト爲セリ

第二十五條ノ新規定ヲ以テ從來ノ添附書類タル「法定ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書類」ニ代フルニ「會議ノ議事錄ノ謄本」ヲ以テセリ

右ハ法定ノ同意ヲ得タルコトノミナラス議事ノ内容ヲ知ルノ必要アルカ爲ナリ

第二十八條　明治三十五年農商務省令第十六號ハ之ヲ廢止ス

第二十九條　本則施行前第七條及第九條ニ定メタル制限額ヨリ低キ制限額ヲ定款ニ定メタル商業會議所ハ大正十年三月末日迄第七條及第九條ニ定メタル制限額ニ依ラサルコトヲ得

第三十條　本則施行前ニ第十五條ノ規定ニ異ナル會計年度ヲ定款ニ定メタル商業會議所ニ付テハ其ノ會計年度ハ大正六年三月末日迄仍從前ノ例ニ依ル經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ認可申請並經費ノ決算報告ノ期限亦同シ

第二十八條ハ遷擧權ニ關スル納税額及資本額ノ制限ニ付今回之ヲ施行規則中ニ規定シタルヲ以テ之ニ關スル從來ノ單行省令ヲ特ニ廢止スル旨ヲ明ニセル也

第二十九條ノ規定ヲ設ケタルハ從前ヨリ定款ヲ以テ省令所定ノ制限額ヨリ低キ制限額ヲ定メタル商業會議所ニ付テハ改正施行規則施行ト同時ニ直ニ制限額ノ引上ヲナサシムルトキハ選擧權者ニ付テ急激ノ異動生シ實際上種々ノ支障ヲ生スルノ虞アルヘキヲ以テ特ニ猶豫期間ヲ與ヘ此ノ期間内ニ漸次制限額ノ引上ヲナサシメムトスルニ在リ

第三十條前段ノ規定ヲ設ケタルハ今回第十五條ヲ以テ會計年度ヲ統一シタルカ之ニ異ナル會計年度ヲ定メタル商業會議所ニ付テハ其ノ會計年度ノ整理上並經費ノ强制徴收權遡及上(改正商業會議所法附則第四項參照)大正六年三月末日迄從前ノ例ニ依ラシムルヲ以テ至當ト認メタルニ因ル而シテ本規定適用ノ結果改正施行規則施行ノ日ニ跨ル會計年度ハ其ノ儘トシ其ノ日又ハ其ノ日以後開始スル會計年度ハ大正六年三月末日ヲ以テ打切ラレ大正六年度ヨリ一樣ニ新規定ニ依ルコトトナルナリ

次ニ本條後段ノ規定ヲ設ケタルハ今回第十七條及第十八條ヲ以テ暦日ニ依リ期限ヲ確定シタル結果右ノ如ク從前ノ例ニ依ル會計年度ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ認可申請並經費ノ決算報告ノ期限ニ付テ新規定ヲ其ノ儘適用シ難キニ因ル

四　改正商業會議所議員選擧規則說明書

改正選擧規則規定

第一條　商業會議所ニ於テ階級選擧ヲ行ハムトスルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ選擧權者ヲ三級又ハ二級ニ分ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ商業會議所法第九條第四項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ハ別ニ之ヲ一階級ト爲スヘシ若シ其ノ數一階級ヲ爲スニ足ラサルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ前項ニ依リテ定メタル各級ニ編入スルコトヲ得

前項ニ依リ一階級ヲ作リタル場合ニ於テハ定款ヲ以テ其ノ階級ヨリ選擧スヘキ議員ノ數ヲ定ムヘシ

第二條　選擧權者ヲ分チテ三級ト爲ス場合ニ於テハ選擧權者中經費ノ納額最多キ者ヲ合セテ選擧權者全員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ一級以外ノ選擧權者中經費ノ納額多キ者ヲ合セテ一級選擧權者ノ經費ノ納額ヲ選擧權者全員ノ納ムル總額ヨリ控除シタル殘額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選擧權者ヲ三級トス但シ一級選擧權者ノ數議員定數ノ三分ノ一ヨリ少ナキトキハ納額最多キ者議員定數ノ三分ノ一ト同數ヲ以テ一級トシ二級選擧權者ノ場合ニモ亦之ヲ準用ス

選擧權者ヲ分チテ二級ト爲ス場合ニ於テハ選擧權者中經費ノ納額最多キ者ヲ合セテ選擧權者全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選擧權者ノ數議員定數ノ二分ノ一ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員定數ノ二分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス

各級ノ間經費ノ納額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ兩級ノ間ニ納額同シキ者二名以上アルトキハ選擧權ニ關スル要件ヲ具備シタル年數ノ多キ者ヲ上級ニ入ル其ノ年數ニ依リ難キトキハ年齡ニ依リ年齡ニ依リ難キトキハ商業會議所ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

舊選擧規則規定

第一條　商業會議所ニ於テ階級選擧ヲ行ハムトスルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ選擧權者ヲ三級又ハ二級ニ分ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ商業會議所法第九條第三項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ハ別ニ之ヲ一階級ト爲スヘシ若シ其ノ數一階級ヲ爲スニ足ラサルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ前項ニ依リテ定メタル各級ニ編入スルコトヲ得

第二條　選擧權者ヲ分チテ三級ト爲ス場合ニ於テハ選擧權者中經費ノ納額最モ多キ者ヲ合セテ選擧權者全員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ一級以外ノ選擧權者中經費ノ納額多キ者ヲ合セテ經費總額ノ殘餘ノ一半ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選擧權者ヲ三級トス

選擧權者ヲ分チテ二級ト爲ス場合ニ於テハ選擧權者中經費ノ納額最モ多キ者ヲ合セテ經費總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選擧權者ヲ二級トス

前條第二項ニ依リ一階級ヲ作リタル場合ニ於テハ之ニ屬スル選擧權者ノ經費納額ヲ經費總額ヨリ控除シタル殘額ヲ以テ前二項ノ經費總額ト看做ス

各級ノ間經費ノ納額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ兩級ノ間ニ納額同シキ者二名以上アルトキハ選擧權ニ關スル要件ヲ具備シタル年數ノ多キ者ヲ上級ニ入ル其ノ年數ニ依リ難キトキハ年齡ニ依リ年齡ニ依リ難キトキハ商業會議所ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

說明

是商業會議所法第九條ノ改正ニ因ル

第三項ヲ追加スルコトトナシタルハ是從來第四條第二項中ニ規定セラレ居タリシモ今回同項ヲ削除スルコトトナシタルヲ以テ特ニ玆ニ抽出シテ規定スルコトト爲シタルナリ

第二條ノ改正要點左ノ如シ

イ、「經費總額」ヲ「選擧權者全員ノ納ムル總額」ト改正シタルコト、

階級選擧ノ場合ニ於テハ經費ノ納額ヲ標準トシテ階級ヲ分ツモノナレハ從テ三分又ハ二分スヘキ經費ハ選擧權者全員ノ納ムル總額ヲ基準トセサルヘカラス然ルニ從前ノ規定ニ依ルトキハ唯單ニ「經費總額」トナシアルカ爲選擧權者ノ納ムル經費ノ外尙其ノ他ノ收入ニ依リ支辨スル經費ヲモ含ムコトトナリ階級區分ニ付不合理ノ結果ヲ齎スコトトナルヲ以テ「選擧權者全員ノ納ムル總額」ト限定スルコトト爲セリ

ロ、舊規定第一項及第二項ニ但書ヲ加ヘタルコト

舊規定ニ依ルトキハ一級選擧權者又ハ二級選擧權者ノ數一人又ハ二人ニ過キサル場合ト雖其ノ儘之ヲシテ多數ノ議員ヲ選擧セシムルモノナルヲ以テ是等ノ選擧權者ニ對シ過大ノ權利ヲ與フル感アルノミナラス多少ノ弊害アルヲ免レヌ是ヲ以テ今回但書ヲ加ヘ議員ノ定數ヲ標準トシテ其ノ三分ノ一又ハ二分ノ一ト同數トナル迄是等ノ選擧權者ノ數ヲ輔充セシムルコトトナセリ

ハ、舊規定第三項ヲ削除シ之ヲ第五條ニ移シタルコト

シ

第三條　經費ヲ賦課セザル商業會議所ニ於テハ階級選擧ヲ行フコトヲ得ス

第四條　選擧權者ヲ分チテ三級ト爲シタル場合ニ於テハ選擧權者ハ毎級各別ニ議員定數ノ三分ノ一ヲ選擧シ選擧權者ヲ分チテ二級トナシタル場合ニ於テハ選擧權者ハ毎級各別ニ議員定數ノ二分ノ一ヲ選擧ス

シ

第三條　經費納額ニ依リ階級ヲ分ツコト能ハサル場合ニ於テハ商業會議所法第九條ノ納稅額ニ依リ前條ノ規定ニ準シテ選擧權者ヲ分ツヘシ但シ取引所稅ニ關シテハ其ノ二十五分一ヲ以テ納稅額ト看做ス

一人ニシテ商業會議所法第九條第一項各號ノ稅ヲ納ムル者ハ其ノ納稅額ヲ通算スヘシ

第四條　選擧權者ヲ分チテ三級ト爲シタル場合ニ於テハ選擧權者ハ毎級各別ニ議員三分一ヲ選擧シ選擧權ヲ分チテ二級ト爲シタル場合ニ於テハ選擧權者ハ毎級各別ニ議員二分一ヲ選擧ス

第一條第二項ニ依リ一階級ヲ作リタル場合ニ於テハ定款ヲ以テ其ノ階級ヨリ

舊規定ニ依ルトキハ經費納額ニ依リ階級ヲ分ツコト能ハサルトキハ直接國稅ヲ標準トシテ分ツコト爲シアルモ經費納額ニ依リ階級ヲ分ツ能ハサルトキハ結局、

イ、均一賦課ノ場合

ロ、經費ヲ賦課セサル場合

ノ二者ナルカ前者ハ今回ノ經費賦課ニ關スル制限ニ付テノ勅令制定ト共ニ將來生シ得ヘカラサルモ後者ハ場合ニ依リ生セサルヲ保シ難シ此ノ場合ニ於テ直接國稅ニ依リ階級ヲ分ツノ可否ニ付テ考フルニ元來階級選擧制度ヲ採用スル趣旨ハ經費ノ負擔額ノ大小ニ應シ之ニ相當スル選擧權ヲ與ヘントスルニアルモノナレハ經費ヲ何等負擔セサル場合ニハ選擧權ニ付テ大小ノ別ヲ設クル特別ノ理由ナク殊ニ商業會議所ノ維持經營ニ別段ノ關係ナキ直接國稅ヲ標準トスルカ如キハ何等理由ナキモノト云フヘシサレハ斯カル場合ニハ階級選擧ヲ行フヲ得サラシメ平等選擧其ノ他ノ方法ニ依ラシムルコトトセリ

議員」ヲ「議員定數」ト確定シタルハ商業會議所法第二十四條ノ改正ニ依リ半數改選ノ制度廢止セラレタルニ因ル

舊規定第三項ハ之ヲ削除シ第五條中ニ規定スルコトトセリ

第五條　第一條第二項ニ依リ一階級ヲ作リタル場合ニ於テハ之ニ屬スル選擧權者ノ經費ノ納額ヲ選擧權者全員ノ納ムル總額ヨリ控除シタル殘額ヲ以テ第二條ノ選擧權者全員ノ納ムル總額ト看做シ其ノ階級ヨリ選擧スヘキ議員ノ數ヲ議員定數ヨリ控除シタル殘數ヲ以テ第二條及第四條ノ議員定數ト看做ス

第八條　商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ選擧權者ヲ業種ニ分チ各業種ヨリ各別ニ所定ノ員數ノ議員ヲ選擧セシムルコトヲ得

第十條　商業會議所ハ設立ノ認可ヲ受ケタル日及毎年一回定款ニ定メタル期日ノ現在ニ依リ選擧權者名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ地方長官ニ差出スヘシ選擧權者名簿ハ階級選擧法ニ依リ議員選擧スヘキ議員ノ數ヲ定メ殘餘ノ議員ニ關シテ前項ノ規定ヲ準用ス

第五條　階級選擧ニ依ル場合ニ在リテハ定款ノ定ムル所ニ依リ改選期ニ於テ各級ヨリ議員ノ各半數ヲ改選スヘシ

第八條　商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ選擧權者ヲ業種ニ分チ各業種ヨリ各別ニ所定ノ員數ノ議員ヲ選擧セシムルコトヲ得

第五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條　商業會議所ハ設立ノ認可ヲ受ケタル日及毎年一回定款ニ定メタル期日ノ現在ニ依リ選擧權者名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ地方長官ニ差出スヘシ選擧權者名簿ハ階級選擧法ニ依リ議員

舊第五條ハ半數改選ノ制度ノ廢止ニ伴ヒ不要ト爲リタルヲ以テ之ヲ削除シ茲ニ新規定ヲ設クルコトトセリ

右新規定ハ法文整理ノ必要上舊第二條第三項ト第四條第二項トヲ合併シテ規定シタルモノニシテ從前ト同趣旨ナリ

本項ヲ削除シタルハ半數改選制度ノ廢止ニ伴ヒ舊第五條ノ規定ヲ削除シタルニ因ル

ヲ選擧スル場合ニ於テハ選擧權者ノ屬スヘキ階級、選擧區又ハ投票區ヲ設ケテ議員ヲ選擧スル場合ニ於テハ選擧權者ノ屬スヘキ選擧區又ハ投票區、業種ニ分チ議員ヲ選擧スル場合ニ於テハ選擧權者ノ屬スヘキ業種ニ區別シテ調製スヘシ

選擧權者名簿ニハ選擧權者ノ氏名又ハ名稱、職業又ハ目的、住所、出生ノ年月日、納稅種目及地區內ニ於ケル納稅ノ額ヲ記載スヘシ但シ地區內ニ住所ヲ有セサル者ニ關シテハ地區內ニ於ケル營業所又ハ事務所ヲ記載シ其ノ數二箇以上アルトキハ商業會議所ニ於テ其ノ一ヲ選定シテ之ヲ記載スヘシ

商業會議所法第九條第四項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ニ關シテハ其ノ氏名、住所、出生ノ年月日、所得稅ノ納額、主トシテ職務ニ從事スル法人ノ名稱、資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額、其ノ職務及主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ヲ記載スヘシ

第二十一條　選擧權者名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票スルコトヲ得ス但シ選擧權者名簿ニ登錄セラルヘキ裁決書ヲ所持スルモノハ此ノ限ニ在ラス

選擧權者ヲ分チテ三級ト爲シタル場合ニ於テハ前項但書ノ選擧權者ハ其ノ者ノ經費ノ納額ニシテ名簿ニ登錄セラレタル一級選擧者中ノ最少額ヨリ多キトキハ一級ニ於テ二級選擧權者中ノ最少額ヨリ多キトキハ二級ニ於テ其ノ他ハ三級ニ於テ選擧ヲ行フヘシ選擧權者ヲ分チテ二級ト爲シタル場合ニモ亦之ヲ準用ス

選擧權者名簿ニ登錄セラレタル者選擧權ヲ有セサルトキハ投票スルコトヲ得ス

第二十二條　法人、女子及無能力者ハ左ノ代人ヲ以テ選擧ヲ行フヘシ

一　法人ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事

二　無能力者ニ非サル女子ニ在リテハ自ラ選任シタル者

三　無能力者ニ在リテハ親權者、後見人、保佐人又ハ夫

商業會議所法第九條第三項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ニ關シテハ前項ノ外其ノ主トシテ職務ニ從事スル法人ノ名稱、目的、納稅種目、納稅額及其ノ資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額並其ノ職務、主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ヲ記載スヘシ

第二十一條　選擧權者名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票スルコトヲ得ス但シ選擧權者名簿ニ登錄セラルヘキ裁決書ヲ所持スルモノハ此ノ限ニ在ラス

選擧權者名簿ニ登錄セラレタル者選擧權ヲ有セサルトキハ投票スルコトヲ得ス

第二十二條　法人、女子及無能力者ハ左ノ代人ヲ以テ選擧ヲ行フヘシ但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

一　法人ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事

二　無能力者ニ非サル女子ニ在リテハ自ラ選任シタル者

三　無能力者ニ在リテハ親權者、後見人、保佐人又ハ夫

第十條第三項及第四項ノ改正ハ商業會議所法第九條ノ改正ニ伴ヒ選擧權者名簿記載事項ニ相當ノ變更ヲ加ヘタルニ止マル尤モ「出生ノ年月日」ヲ特ニ追加シタルハ被選擧資格ノ判定上其ノ必要アリト認メタルニ因ル

從來ノ規定ニ依ルトキハ階級選擧ヲ爲ス場合ニ於テ選擧權者名簿ニ登錄セラレサル選擧權者ハ何レノ階級ニ於テ選擧スヘキヤ不明ナリシヲ以テ今回其ノ所屬階級ヲ定ムルコトトセリ

本條ノ改正ハ商業會議所法第十八條ノ改正ニ伴ヒ商業會議所ノ地區內ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有セサル者ハ如何ナル者ヲ以テ其ノ代人ト爲シ得ルヤニ付テ新ニ規定シタルニ止マル

ハ事務所ヲ有セサル者ハ自ラ選任シタル者ヲ以テ選擧ヲ行フコトヲ得但シ法人又ハ無能力者ニ在リテハ前項ニ依リ其ノ代人ト爲リ得ル者ノ選任シタル者ヲ以テ其代人ト爲スヘシ

代人ハ帝國臣民タル成年ノ男子ニシテ商業會議所法第十三條ニ該當セサル者ナルコトヲ要ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

代人選擧ヲ行ハムトスルトキハ其ノ代人タルコトヲ證スヘキ書面ヲ携帶スヘシ

第二十八條　有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ定款ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外投票ニ記載スヘキ被選擧人ノ數ヲ選擧權者又ハ議員選擧人ノ數ニ乘シ選擧スヘキ議員ノ數ヲ以テ之ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選者ニシテ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ、被選擧權ヲ有セサル爲メ當選無效ト爲リタルトキ又ハ農商務大臣ノ命ニ依リ當選ヲ取消サレタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ

代人ハ帝國臣民タル成年ノ男子ニシテ商業會議所法第十三條ニ該當セサル者ナルコトヲ要ス

代人選擧ヲ行ハムトスルトキハ其ノ代人タルコトヲ證スヘキ書面ヲ携帶スヘシ

第二十八條　有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ定款ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外投票ニ記載スヘキ被選擧人ノ數ヲ選擧權者又ハ議員選擧人ノ數ニ乘シ選擧スヘキ議員ノ數ヲ以テ之ヲ除シテ得タル數ノ五分一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選者ニシテ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ、被選擧權ヲ有セサル爲メ當選無效ト爲リタルトキ又ハ農商務大臣ノ命ニ依リ當選ヲ取消サレタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ

「五分一」ヲ「七分ノ一」ニ改メタルハ當選者得票數ノ最少限度從來ハ「五分ノ一」ナリシカ之ヲ「七分ノ一」ニ低下スルモ別ニ支障ナキノミナラス得票不足ノ爲當選者ニ不足ヲ生シ延イテ再應選擧ヲ行ハサルヘカラサルノ煩ヲ少カラシムルノ益アルヲ以テ也

者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス

本條ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取リ年齡ニ依リ難キトキハ抽籤ヲ以テ其ノ順位ヲ定ム

第三十四條　第三十二條ニ依リ當選確定シタルトキハ地方長官ハ直ニ其ノ旨ヲ當選者ニ告知スヘシ

當選者ノ氏名又ハ名稱ハ地方長官之ヲ告示シ且之ヲ商業會議所ニ通知スヘシ

法人議員ニ當選シタルトキハ當選確定ノ日ヨリ十日以內ニ代表者ノ氏名、其ノ法人ニ於ケル地位、住所及出生ノ年月日ヲ商業會議所ニ屆出ツヘシ代表者變更ノ場合亦同シ

第三十五條　左ノ各號ニ該當スル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

一　詐僞ノ方法ヲ以テ選擧權者名簿ニ登錄セラレタル者

二　選擧委員、投票管理者又ハ立會人ニシテ正當ノ事由ナク本令ニ定メタル義務ヲ缺キタル者

者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス

本條ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ抽籤ヲ以テ其ノ順位ヲ定ム

第三十四條　第三十二條ニ依リ當選確定シタルトキハ地方長官ハ直ニ其ノ旨ヲ當選者ニ告知スヘシ

當選者ノ氏名ハ地方長官之ヲ告示シ且之ヲ商業會議所ニ通知スヘシ

舊施行規則第九條第一項　法人議員ニ當選シタルトキハ當選確定ノ日ヨリ二十日以內ニ代表者ノ氏名、其ノ法人ニ於ケル地位、身分、住所及生年月ヲ商業會議所ニ屆出ツヘシ代表者變更ノ場合亦同シ

第三十五條　左ノ各號ニ該當スル者ハ十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一　詐僞ノ方法ヲ以テ選擧權者名簿ニ登錄セラレタル者

二　選擧委員、投票管理者又ハ立會人ニシテ正當ノ事由ナク本令ニ定メタル義務ヲ缺キタル者

「同年月ナルトキ」ヲ「年齡ニ依リ難キトキ」ニ改メタルハ得票同數者トシテ個人ト法人ト競合スル場合生スルニ因ル

「氏名」ヲ「氏名又ハ名稱」ニ改メタルハ當選者ニハ個人ノ外法人モアリ得ヘキヲ以テ也

第三項ノ新設シタルハ之ハ從來施行規則第九條ニ規定セラレシカ之ヲ削除シ選擧規則中ニ規定スルヲ相當ト認メタルニ因ル尤モ從來ハ屆出期限當選確定ノ日ヨリ「二十日以內」ナリシモ之ハ短縮スルヲ以テ至當ト認メ「十日以內」トセリ

第三十五條、第三十六條及第三十七條中ノ改正ノ要點ハ選擧事犯ニ對スル刑罰ヲ加重シタルニ在リ尙「輕禁錮」ヲ「禁錮」ニ改メタルハ刑法ノ改正ニ基クモノニシテ「氏名」ヲ「氏名又ハ名稱」ニ改メタルハ被選擧人ニハ個人ノ外法人モアリ得ヘキヲ以テ也

第三十六條　選擧ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除クノ外二月以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一　選擧ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選擧權者、議員選擧人、代人又ハ選擧運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者竝供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二　選擧ニ關シ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選擧場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者竝此等ノ約束ヲナシ又ハ約束ヲ受ケタル者

三　選擧場ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ノ投票ニ關渉シ又ハ被選擧人ノ氏名又ハ名稱ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者

第三十七條　左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除クノ外二月以下ノ禁錮ニ處ス

一　詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者

二　選擧權者、議員選擧人又ハ代人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ選擧權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ爲サシメタル者

三　選擧委員、投票管理者、立會人其ノ他選擧事務ヲ監視シ又ハ選擧事務ニ關係アル者ニシテ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ノ投票シタル被選擧人ノ氏名又ハ名稱ニ付眞僞ニ拘ラス之ヲ表示シタル者

四　選擧ニ關シ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

五　選擧委員、投票管理者、立會人其ノ他選擧事務ヲ監視シ又ハ選擧事務ニ關係アル者ニ暴行脅迫ヲ加ヘ又ハ選擧場ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者

附則

第三十六條　選擧ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除クノ外二十五日以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一　選擧ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選擧權者、議員選擧人、代人又ハ選擧運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者竝供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二　選擧ニ關シ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選擧場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者竝此等ノ約束ヲナシ又ハ約束ヲ受ケタル者

三　選擧場ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ノ投票ニ關渉シ又ハ被選擧人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者

第三十七條　左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除クノ外二十五日以下ノ輕禁錮ニ處ス

一　詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者

二　選擧權者、議員選擧人又ハ代人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ選擧權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ爲サシメタル者

三　選擧委員、投票管理者、立會人其ノ他選擧事務ヲ監視シ又ハ選擧事務ニ關係アル者ニシテ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ノ投票シタル被選擧人ノ氏名ニ付眞僞ニ拘ラス之ヲ表示シタル者

四　選擧ニ關シ選擧權者、議員選擧人又ハ代人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

五　選擧委員、投票管理者、立會人其ノ他選擧事務ヲ監視シ又ハ選擧事務ニ關係アル者ニ暴行脅迫ヲ加ヘ又ハ選擧場ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者

本令ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

商業會議所ハ大正五年七月一日ノ現在ニ依リ選擧權者名簿ヲ調製シ次回ノ名簿確定ノ日迄之ヲ据置クヘシ

附則第二項ノ規定ヲ設ケ特ニ選擧權者名簿ヲ調製セシムルコトヽナシタルハ改正商業會議所法ノ實施ニ伴ヒ擧權者ノ異動尠カラサルヘキニ因ル

大正五年九月十五日印刷
大正五年九月十九日發行

農商務省商工局

印刷人　東京市京橋區瀧山町六番地　小川邦孝

印刷所　東京市京橋區瀧山町六番地　東京製本合資會社
電話新橋（七七七九九九七六五）

147
144